

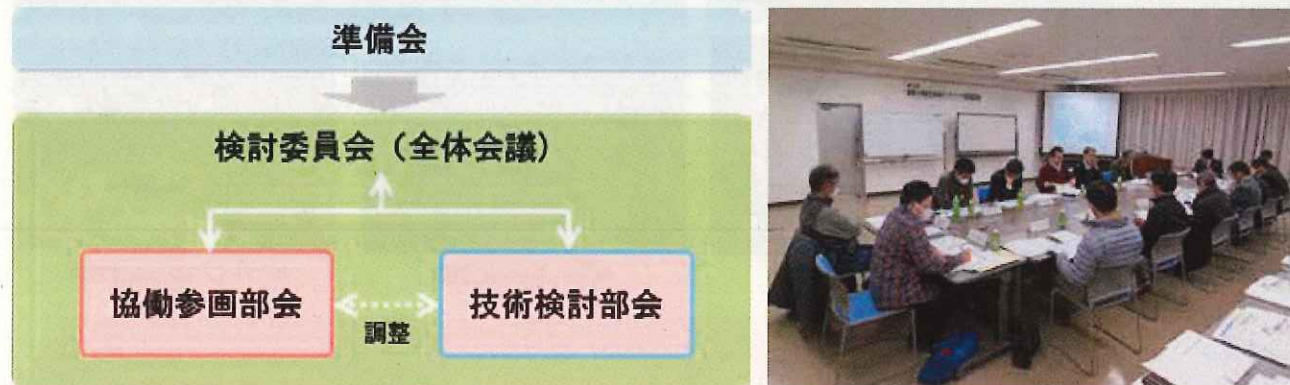
吉野川流域生態系ネットワーク検討委員会

吉野川流域生態系ネットワークの内容は「吉野川流域生態系ネットワーク検討委員会」で検討を行っています。検討委員会の中には部会が設置され、パイロット事業の実現方法の検討や、パイロット事業のフォローアップを行います。

吉野川流域生態系ネットワーク検討委員会（H27.10現在）

区分	氏名(敬称略)	所属・役職等	専門
学識者	鎌田 磨人	徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授	生態系
	河口 洋一	徳島大学工学部建設工学科 准教授	魚類・河川環境
	木下 覺	徳島県植物研究会 会長	植物
	上月 康則	徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授	環境工学・生態系工学
	小林 實	元徳島市教育委員会 教育長	鳥類
	佐藤 陽一	徳島県立博物館自然課 課長	魚類
	武藤 裕則	徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授	河川工学
NPO・民間	井口 利枝子	とくしま自然観察の会 世話人代表	干潟・自然観察
	櫻本 幸実	日本ビオトープ管理士会徳島県支部 代表	自然の保全再生等
	塩崎 健太	特定非営利活動法人川塾 代表理事	河川環境学習
	渡辺 正樹	徳島経済同友会 事務局長	地域経済
	藤川 雅仁	AMEMBO 代表	河川環境学習
	三宅 武	日本野鳥の会徳島県支部 支部長	鳥類
行政	竹島 睦	国土交通省 徳島河川国道事務所 事務所長	
	北川 政宏	徳島県 河川整備課 課長	
	小椋 昇明	徳島県 生活安全課 課長	

検討体制



検討の進め方

平成26年度	準備会：検討の進め方・合意形成のルール・課題や事業内容のアイデア出し	検討委員会：目標・基本方針・プロジェクトの検討
平成27年度	検討委員会：パイロット事業の検討	部会：パイロット事業の実現方法の検討
平成28年度	検討委員会：部会での検討内容の報告・今後の事業推進に向けた検討	パイロット事業の実施
平成29年度以降	部会：パイロット事業推進のフォローアップ	事業の本格実施

発行：吉野川生態系ネットワーク検討委員会

事務局：国土交通省 徳島河川国道事務所・徳島県河川整備課

吉野川流域生態系ネットワーク

●生態系ネットワークとは

「生態系ネットワーク」とは、「人と自然の共生を確保するため、森林、農地、都市内緑地、水辺、河川、海等を有機的につなぐこと（国土形成計画より）」です。人と自然が共生する豊かな地域をつくるための方法として、国や県等の計画に記載され、全国で取組が進められています。

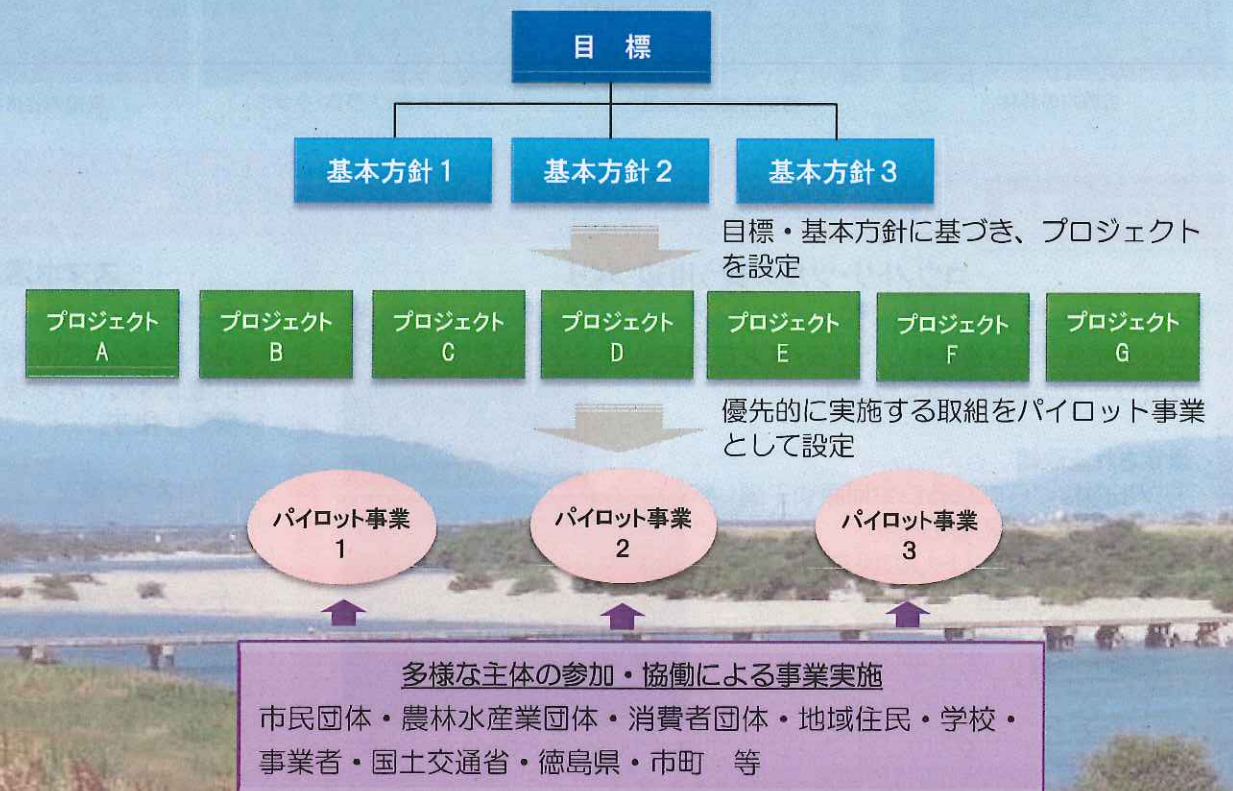
●吉野川流域生態系ネットワークの目的

「吉野川流域生態系ネットワーク」は、吉野川流域（徳島県内）において、河川を拠点・軸とした生態系ネットワークの形成を図り、自然からの恵み豊かな地域づくりを進めることを目的として実施します。検討においては次の3点に留意します。

1. 目標や将来像の共有
2. 多様な主体の参加・協働
3. 具体的な事業展開

●検討から事業実施の流れ

目標や将来像を共有するために「目標」、「基本方針」を定め、これを実現するための「プロジェクト」を設定します。さらに「プロジェクト」に基づいて、先行的に実施する「パイロット事業」を計画し、多様な主体の参加・協働により実施します。



目標(要旨)

「吉野川流域生態系ネットワーク」は、生きものすみやすい環境を守り、取り戻す取り組みを通じて、人と自然の関わりを深めるとともに、流域の魅力づくりや地域活力の向上に役立てることを目標として行います。
 これによって、川辺に自然と触れ合う子どもたちの笑い声が響き、自然とのふれあいや地域の食文化、美しい風景を求めて多くの人々が訪れ、住民が誇りと愛着を持ちながら暮らしていくことのできる流域を実現していきます。

基本方針

1 生きものすみかとなる「場所」を守り、再生し、つなぐことにより、多くの生きものが訪れ、生息・生育する流域にします

2 ふるさとの自然に親しむ場や機会を増やし、流域への愛着や誇りを育みます

3 地域の魅力づくりや活力の向上に役立て、多くの人や組織の参加する取組にします

プロジェクト

A.水辺のネットワークプロジェクト
 A1.海を含めた水辺のネットワーク形成
 A2.身近な水辺(水路や池)のネットワーク形成



海と川を行き来している魚(目標種)



吉野川河川敷の池

B.大型水鳥と渡り鳥を迎えるプロジェクト
 B1.コウノトリやツル・マガンを迎える環境づくり
 B2.シギ・チドリを迎える環境づくり



コウノトリ



シギ・チドリ類

C.下流域の人と生きものが集う川辺プロジェクト
 C1.旧吉野川・今切川の自然拠点の保全と創出
 C2.吉野川汽水域の自然拠点の保全と再生



旧吉野川の河畔林



吉野川の干潟

D.中流域のふるさとの川再生プロジェクト
 D1.美しい竹林の再生
 D2.れき河原や瀬・淵等の保全と再生



吉野川の竹林



吉野川のれき河原

E.上流域の人と自然の活力向上プロジェクト
 E1.吉野川上流域の自然の保全・活用
 E2.支川上流の自然と文化の継承(宮川内谷川等)



吉野川上流(大歩危・小歩危)



宮川内谷川上流

F.川に人が集い・親しむプロジェクト
 F1.川への興味と関心の醸成
 F2.川の自然を学び・親しむ機会の提供



干潟の自然観察



水難事故防止講習会

G.協働による事業推進プロジェクト
 G1.協働による自然の保全・管理の推進
 G2.協働による推進体制やしくみづくり



特定外来生物の駆除



アドプト・プログラム吉野川

パイロット事業

コウノトリ・ツルの舞う川辺づくり

吉野川流域に訪れている、コウノトリやツル類の生息環境を保全・創出し、流域を越えた生態系ネットワークの拠点をづくりします。



想定される取組

- ・ツルのねぐらになるレキ河原や干潟への人による影響の緩和
- ・河川敷へのコウノトリの採食場所(浅い水辺)の創出
- ・水田やハス田の採食場所としての環境向上等



ナベツルのねぐらになっているれき河原

参加・協働が期待される方々

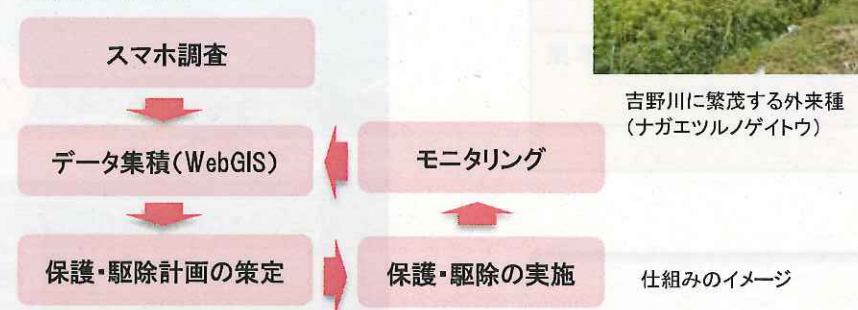
市民団体・農業団体・消費者団体・市町等

スマホ活用による希少種保護、外来種駆除

スマートフォンを用いて住民参加により希少種や外来種の位置情報を集積し、これを用いて希少種の保護、外来種の駆除を推進する仕組みを構築します。



吉野川に繁茂する外来種(ナガエツルノゲイトウ)



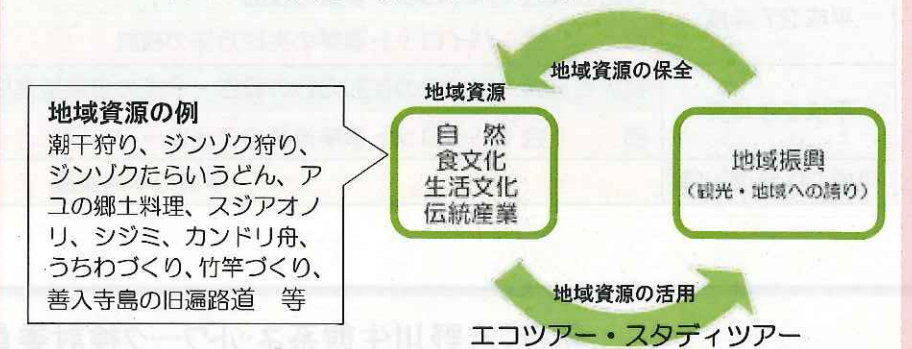
仕組みのイメージ

参加・協働が期待される方々

地域住民・市民団体・小中学校・企業・市町等

吉野川流域の地域資源の保全と活用

吉野川流域の自然と川に育まれた、食文化や生活文化等の伝統文化、伝統産業を活用して、エコツアーやスタディツアーを行います。これによって、地域振興と地域資源の保全を進めます。



参加・協働が期待される方々

地域住民・市民団体・観光振興団体・地域振興団体・企業・市町等